

Biz メール&ウェブ

迷惑メールフィルタリング・ウイルスチェック 管理者マニュアル

この度は「Biz メール&ウェブ」を ご契約いただき、ありがとうございます。

本書は、「Biz メール&ウェブ」で「迷惑メールフィルタリング」および「ウイルスチェック」をご利用いただくための、『管理者用コントロールパネル』（オプションサービス用）の操作方法についてご案内しています。

『管理者用コントロールパネル』の名称は、ビジネスとプレミアムで以下の通り異なります。

- ビジネスのお客様 : メールセキュリティ 管理者用コントロールパネル
- プレミアムのお客様 : オプションサービス 管理者用コントロールパネル。

本サービスの仕様変更により、本書の内容とサービスが一致しない場合がありますので、ご了承ください。

表示やマークについて

サーバーを利用する契約者、または利用者が損害を受ける可能性のある事や、サーバーが利用不可となる可能性があることを、回避法とともに記載しています。

 警告	必読となります。未確認の場合、損害を負う可能性があります。
 注意	ご確認をお願いいたします。未確認の場合、一時的にサービスを利用できない等の不都合が生じる可能性があります。

禁止行為は禁止マークが入っています。

	禁止事項を示しています。
---	--------------

その他の表示

 アドバイス	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと
--	-------------------------------

本書および本書以外のマニュアルについて

マニュアル名	用途・目的
セットアップマニュアル	<u>Biz メール&ウェブの 初期設定に関する、管理者向けマニュアルです。</u> ■管理者の初期設定、IP アクセス制限 ■ユーザーの登録（新規/変更/削除）、メール転送設定 ■ホームページのディレクトリ構成、ファイル作成、公開手順 ■DNS サーバーの変更・登録申請、サーバー情報等 ■運用開始時の確認事項 ■ご契約内容の変更方法、ユーザーサポート、工事故障情報通知
管理者マニュアル	<u>Biz メール&ウェブ をご利用いただく上での詳細な設定に関する、管理者向けマニュアルです。</u> ■二要素認証の設定 ■メールサーバー関連、ウェブサーバー関連 ■各種アプリケーション、データベース ■システム関連（定期実行タスク、IP アクセス制限（詳細）、ファイルバックアップ、リソース負荷状況、管理者パスワード再設定） ■CGI に関する仕様 ■サービスご利用上の注意事項
利用者マニュアル	<u>Biz メール&ウェブ のユーザーが個別に行う設定について記載しています。</u> ■コントロールパネルの基本操作、パスワード変更 ■メール関連（受信設定：転送、自動返信、個別ルール） ■ファイルマネージャーの使い方、共有ファイル、復元ファイル ■Web サイト機能関連（ディレクトリ構成、FTP 設定）
メール設定マニュアル	<u>Biz メール&ウェブ でメールソフトを使用する場合に 管理者が行う事前確認および注意事項 とユーザー個別に行うメールソフトの設定 について記載しています。</u> ■新規利用の場合のメールご利用までの流れ・DNS 情報の設定について ■他サービスから移行した場合のメールご利用までの流れ・DNS 情報の設定について ■メールセキュリティ関連のオプションサービスをご利用の場合の注意事項 ■メールソフトに関する注意事項 ■メールソフトの設定
Active!mail 利用マニュアル	<u>Biz メール&ウェブで Active! mail を利用するユーザーが個別に行う設定 について記載しています。</u> ■ウェブメール機能（Active!mail） の設定/利用方法
<オプションサービス> ※プレミアムのみ メール監査アーカイブ 設定マニュアル	<u>メール監査アーカイブ（オプションサービス）の コントロールパネルや機能に関する、管理者向けマニュアルです。</u> ■メール監査アーカイブの概要 ■セットアップ手順 ■各種コントロールパネルの概要 ■主管理者・副管理者の登録と権限 ■送受信メールの全文保存設定 ■登録済みフィルタールール確認、送受信ルールの設定 ■メール管理の機能と操作方法 ■レポート閲覧方法 ■送受信ルール関連（作成・編集・削除など） ■通知メッセージ、サンプル/例（フィルタールール、通知メッセージ、SPF レコード）
<オプションサービス> 迷惑メールフィルタリング /ウイルスチェック 管理者マニュアル	<u>オプションサービスの管理者用コントロールパネル や 機能に関する、管理者向けマニュアルです。</u> ※詳細は本書の「目次」をご参照ください。

<オプションサービス> 迷惑メールフィルタリング ドメイン管理者マニュアル	迷惑メールフィルタリング（オプションサービス）の コントロールパネルで行う詳細設定 に関する、ドメイン管理者向けマニュアルです。 ■ 操作概要（ドメイン全体/ドメインで管理しているアカウント個別の操作） ■ アカウント管理（追加、編集、削除など…） ■ 隔離メール関連（検索、許可リスト登録、転送、フィードバック、削除など） ■ 迷惑メール受信状況レポート、誤判定メールフィードバック ■ ソース IP 制限、アドレスフィルタ設定 ■ ドメイン管理者のパスワード変更
<オプションサービス> 迷惑メールフィルタリング 利用者マニュアル	迷惑メールフィルタリング（オプションサービス）を利用するユーザーが個別に行う設定について記載しています。 ■ 隔離メール関連（検索、許可リスト登録、転送、フィードバック、削除など） ■ 誤判定メールフィードバック ■ アカウント設定、パスワード変更 ■ アドレスフィルタ設定、フィルタリングルールのエクスポート/インポート

目次とページリンクについて

本書では、目次・文中のページ誘導をクリックすると、該当ページをすぐに表示することができます。各ページから目次に戻る場合は、ページ右上の矢印マークをクリックします。



メールのセキュリティに関するオプションサービスについて

本書では、以下2つのオプションサービスの機能についてご説明します。

● 迷惑メールフィルタリング（本書の1～6章で説明）

お客さまに向けて送信されたメールのうち、お客さまが不要と想定される「スパムメール」「フィッシングメール」「未承諾広告」などに対して、自動的に処置をする機能を提供します。この機能では、お客さま向けのコントロールパネルを用意しており、各種の設定が可能です。

● ウイルスチェック（本書の7章で説明）

受信いただくメールの添付ファイルや本文中(ウェブサイトの URL など) に、ウイルスなどの有害な情報が埋め込まれていると判断したとき、自動的に削除する機能を提供します。

ウイルスチェック機能は、お客さまが本オプションをご契約の時点で、有効になっています。この機能は、すべて自動的に処置をさせていただくため、お客さまに設定していただく機能はございませんが、必要に応じて、ウイルス検出時の警告メールの送付先を変更することが可能です。

Biz メール&ウェブ『ビジネス』と『プレミアム』では、オプションサービスのご提供方法が、以下の通り異なります。

◆ ビジネス のお客様

「メールセキュリティ」というオプション名で、上記2つの機能をセットでご提供しています。

◆ プレミアム のお客様

「迷惑メールフィルタリング」と「ウイルスチェック」を、それぞれ別のオプションとしてご提供しています。

当サービスをご利用いただくお客さまにおかれましては、NTTドコモビジネス株式会社が通知するウイルス感染情報等について、その通知が実施されることを、事前にご承諾を得ていただきます。

弊社が通知したウイルス感染情報等により、お客さまの管理される本サービスの利用者様から苦情の申告及び損害賠償請求等の紛争が起こった場合、ご契約者の責任により当該紛争を解決していただきます。

弊社は、弊社が通知するウイルス情報に起因する損害について、ご契約者及び本サービスの利用者に対し一切の責任を負わないものとします。

目次

表示やマークについて	1
本書および本書以外のマニュアルについて	2
目次とページリンクについて	3
メールのセキュリティに関するオプションサービスについて	4
目次	5
1 迷惑メールフィルタリング機能	7
1.1 機能の概要	7
1.2 セットアップの概要	8
1.2.1 Biz メール&ウェブ ビジネスをご契約の場合	8
1.2.2 Biz メール&ウェブ プレミアムをご契約の場合	9
1.3 動作環境	10
2 管理者用コントロールパネル	11
2.1 管理者用コントロールパネルへのログイン方法	11
2.2 管理者用コントロールパネルの表示項目	20
2.3 管理者アカウントの管理	22
2.4 IP アドレス制限の強制解除	25
2.5 多要素認証用メールアドレスの管理	27
2.6 管理者 ID のパスワードを忘れた場合（迷惑メールフィルタリング機能）	31
3 迷惑メールフィルタリングの設定	35
3.1 迷惑メールフィルタリングの機能概要	35
3.2 参考情報	36
4 オプションサービス管理外メールの受信制限	45
4.1 オプションサービス管理外メールの受信制限 の概要	45
4.2 オプションサービス管理外メールの受信制限 の設定	45
5 お客さま DNS サーバーの設定	47
6 ご利用上の注意事項	48
7 ウイルスチェック機能	49
7.1 機能概要	49
7.2 警告メール送付先(管理者アカウント) の変更	51
7.3 警告メールの内容	54

MEMO

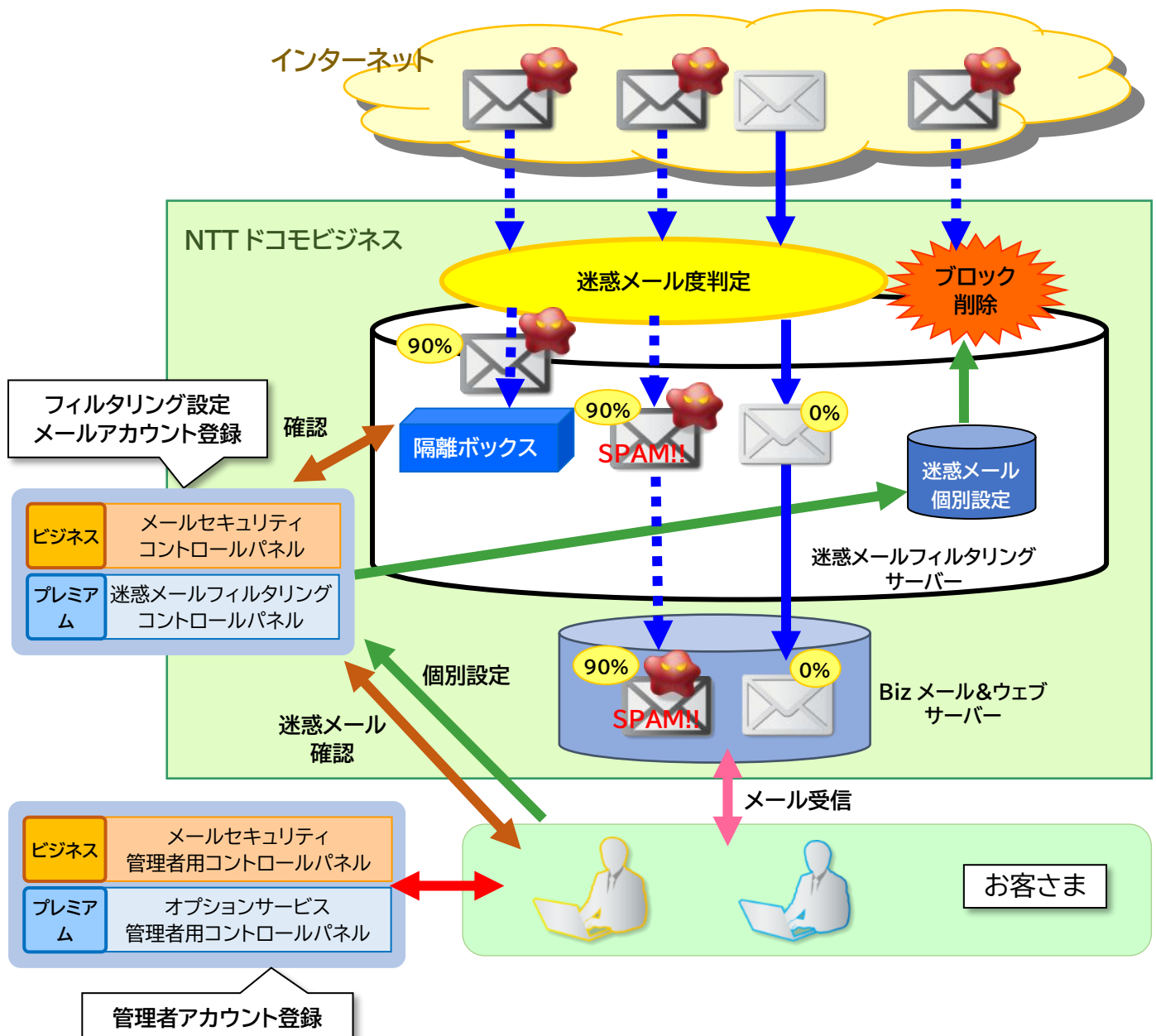
1 迷惑メールフィルタリング機能

1.1 機能の概要

「迷惑メールフィルタリング機能」は、迷惑メール判定 DB に基づき、迷惑メール度合いを判定して、その判定度合いをメールヘッダに付与するサービスです。

迷惑メールの度合いが高いメールを、本サービスにてお客さまのメールアドレス単位に用意された隔離ボックスへ自動振り分けしたり、Subject へ [SPAM!!] といった識別子を付与したりすることで、不要なメールをブロックできます。また、個別設定により迷惑メールをブロック／削除することもできます。

本サービスにより迷惑メールの振り分けや削除の手間を省き、業務を効率化できます。



1.2 セットアップの概要

1.2.1 Biz メール&ウェブ ビジネスをご契約の場合

本サービスをご利用いただく際には、「管理者用コントロールパネル」および「メールセキュリティコントロールパネル」から、ユーザー登録やフィルタリング設定等を行います。

メールセキュリティ機能 セットアップの流れ

参照 マニュアル

1. 管理者アカウントの作成

「管理者用コントロールパネル」から、「管理者アカウント」を作成します。

本書「[2. 管理者用コントロールパネル](#)」

2. 各種フィルタリング設定

「メールセキュリティコントロールパネル」から、以下の設定を行います。

- ユーザー登録
「メールアカウント」の ID、パスワード等を設定します。
- フィルタリング設定
迷惑メールの処理方法を設定します。
- 優先フィルタ設定
「ドメイン全体に対するフィルタリング設定」と、「メールアドレス単位へのフィルタリング設定」のどちらを適用するか設定します。
- 宛先不明メール対策設定
宛先不明メール対策の設定をします。
- SPF による判定機能の設定
SPF 判定結果によるスタンプ付与、または隔離の設定をします。

迷惑メールフィルタリング
ドメイン管理者マ
ニュアル

3. お客さま DNS サーバーの設定

お客さま管理の DNS サーバーをご利用の場合のみ、ご利用ドメインの DNS サーバー設定を変更します。

- ※ MX レコード変更は、**本機能のご利用開始日以降**に実施してください。
- ※ Biz メール&ウェブ ビジネス標準の DNS サーバーをご利用の場合は、本設定は不要です。

■注意事項など
本書「[5 お客さま DNS サーバーの設定](#)」

■設定値
セットアップマニュアル
「[6.2 お客さま DNS サーバーの設定](#)」

1.2.2 Biz メール&ウェブ プレミアムをご契約の場合

本サービスをご利用いただく際には、「管理者用コントロールパネル」および「迷惑メールフィルタリング コントロールパネル」から、ユーザー登録やフィルタリング設定等を行います。

迷惑メールフィルタリング機能 セットアップの流れ

参照 マニュアル

1. 管理者アカウントの作成

「管理者用コントロールパネル」から、「管理者アカウント」を作成します。

本書「[2. 管理者用コントロールパネル](#)」

2. 各種フィルタリング設定

「迷惑メールフィルタリング コントロールパネル」から、以下の設定を行います。

- **ユーザー登録**
「メールアカウント」の ID、パスワード等を設定します。
- **フィルタリング設定**
迷惑メールの処理方法を設定します。
- **優先フィルタ設定**
「ドメイン全体に対するフィルタリング設定」と、「メールアドレス単位へのフィルタリング設定」のどちらを適用するか設定します。
- **宛先不明メール対策設定**
宛先不明メール対策の設定をします。
- **SPF による判定機能の設定**
SPF 判定結果によるスタンプ付与、または隔離の設定をします。

迷惑メールフィルタリング
ドメイン管理者
マニュアル

3. オプションサービス管理外メールの受信制限(任意)

Biz メール&ウェブ プレミアムサーバーへ直接メール配送を行う迷惑メール送信者からのメールをブロックする機能です。

Biz メール&ウェブ プレミアムのコントロールパネルから設定します

本書「[4. オプションサービス管理外メールの受信制限](#)」

4. お客さま DNS サーバーの設定

お客さま管理の DNS サーバーをご利用の場合のみ、ご利用ドメインの DNS サーバー設定を変更します。

※ MX レコード変更は、**本機能のご利用開始日以降**に実施してください。

※ Biz メール&ウェブ プレミアム標準の DNS サーバーをご利用の場合は、本設定は不要です。

■注意事項など

本書「[5 お客さま DNS サーバーの設定](#)」

■設定値

セットアップマニュアル
「6.2 お客さま DNS
サーバーの設定」



1.3 動作環境

弊社で「管理者用コントロールパネル」の動作を確認した環境は以下になります。

■ 弊社動作確認済みの環境

OS

Windows11

ブラウザ

- ・ Microsoft Edge Ver 140.0.3485.54
- ・ Google Chrome Ver 139.0.7258.155

※ 上記は 2025 年 9 月時点の情報です。

※ 本マニュアルの画面例は、ご利用の Web ブラウザの種類やバージョンによって表示内容が多少異なる場合があります。



2 管理者用コントロールパネル

2.1 管理者用コントロールパネルへのログイン方法

迷惑メールフィルタリング機能をご利用いただく前に、「管理者用コントロールパネル」から、管理者のログイン ID とパスワードを登録する必要があります。

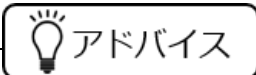
- 1) 以下の、管理者用コントロールパネル URL にアクセスします。

Biz メール&ウェブ ビジネス をご利用のお客様

<https://mw-filter.ocn.ad.jp/> メールセキュリティ 管理者用コントロールパネル

Biz メール&ウェブ プレミアム をご利用のお客様

<https://option-cp.ocn.ad.jp/> オプションサービス 管理者用コントロールパネル



アドバイス

上記 URL は、Biz メール&ウェブのコントロールパネルからも、以下の方法でアクセスできます。

- ① Biz メール&ウェブのコントロールパネルに、管理者権限でログインします。

※ ログイン方法は、各プランの『セットアップマニュアル』を参照してください。

- ② 左メニューの「メールサーバー」から、
ビジネスのお客様は、[メールセキュリティ] をクリック
プレミアムのお客様は、[迷惑メールフィルタリング] をクリック
して、[ログイン画面を開く] をクリックします。



※上図は、プレミアムの画面を例にしています。



- 2) ログイン画面が表示されたら、『ご利用内容のご案内』に記載されている[ドメイン名][認証ID][認証パスワード]を入力して、[ログイン]をクリックします。

Biz メール&ウェブ ビジネス をご利用のお客様

メールセキュリティ 管理者用コントロールパネル

お客様のドメイン名、認証ID、パスワードを入力し、ログインボタンを押してください。

ドメイン名 example.com

認証ID test

パスワード ●●●●●●●●

クリア ログイン

Biz メール&ウェブ プレミアム をご利用のお客様

オプションサービス管理者用コントロールパネル

お客様のドメイン名、認証ID、パスワードを入力し、ログインボタンを押してください。

ドメイン名 example.com

認証ID test

パスワード ●●●●●●●●

クリア ログイン



注意

複数回ログインに失敗した場合、一定期間認証ロックがかかります。
ロックがかかった場合は、しばらくの間操作をせずお待ちください。自動的にロックが解除されます。ロックが解除されてから再度ログインをお試しください。



手順3)～8)は、多要素認証用メールアドレスの登録手順です。

既に登録済みの場合は、手順9)にお進みください。

※以降の説明は、プレミアムの画面を例にしています。

- 3) 多要素認証用のメールアドレスを登録します。[登録] をクリックしてください。

- 4) [登録するメールアドレス] を入力して、[確認] をクリックします。

※ 以下の規則に沿った文字/記号を使用しているメールアドレスが、登録可能です。

@より左側	半角英数字 : a～z、A～Z、 0～9 半角記号 : _ . - _ + # * ? ^ ' { } ~
@より右側	半角英数字 : a～z、A～Z、 0～9 半角記号 : - . ※ 「.」 で開始しないこと ※ 「.」 で終了しないこと ※ 「.」 が 2 回以上連続しないこと
最大文字数	254 文字



- 5) メールアドレスに間違いがないことを確認して、[コード送信] をクリックします。

※ 入力し直す場合は、[キャンセル] をクリックしてください。

- 6) 入力したメールアドレス宛にアクティベートコードが送信されます。
30 分以内に、メール本文に記載されている [アクティベートコード] を入力して、
[登録] をクリックしてください。

※ メールが届かない場合は [再送信] をクリックしてください。

- ご利用環境によっては、「迷惑メールフォルダ」や「受信箱以外のフォルダ」に振り分けられている場合もあります。送信されるメールの内容は「[「アクティベートコード」通知メールの例](#)」を参照してください。
- 各社メールサービスのポリシーによっては、ご登録いただいたメールアドレスへのメール配送が行われない場合があります。その場合は、別のメールアドレスをお試してください。
- メールアドレスの入力をやり直す場合は、ブラウザの [×] ボタンで画面を閉じて、再度、手順 1) からやり直してください。



- 7) 登録したメールアドレス宛に登録完了メールが送信され、登録が完了した旨の画面が表示されます。[ログイン画面に遷移] をクリックしてください。

オプションサービス管理者用コントロールパネル

以下のようにメールアドレスを登録しました。再度ログイン処理から操作してください。

現在の登録メールアドレス	test-tayouso@example.co.jp
--------------	----------------------------

ログイン画面に遷移

- 8) ログイン画面が表示されたら、手順2)と同様に[ドメイン名][認証ID][認証パスワード]を入力して、[ログイン]をクリックします。

オプションサービス管理者用コントロールパネル

お客様のドメイン名、認証ID、パスワードを入力し、ログインボタンを押してください。

ドメイン名	example.com
認証ID	test
パスワード	●●●●●●●●

クリア ログイン



- 9) 登録したメールアドレスに「認証コード」が送信されます。**30分以内**に、メール本文に記載されている【認証コード】を入力して、【認証】をクリックします。

マニユア

オプションサービス管理者用コントロールパネル

test*****@e*a*p*e*c*.jp にメールを送信したので、そこに記載されている認証コードを入力してください。
認証コードを記載したメールが届かない場合は再送信ボタンを押してください。

認証コード

再送信

認証

※ メールが届かない場合は【再送信】をクリックしてください。

- ご利用環境によっては、「迷惑メールフォルダ」や「受信箱以外のフォルダ」に振り分けられている場合もあります。送信されるメールの内容は「[「認証コード」通知メールの例](#)」を参照してください。

- 10) 下図のトップページが表示されたら、ログイン完了です。

オプションサービス管理者用コントロールパネル(example.com)		
ご利用状況		
迷惑メールフィルタリング	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	10
	登録済みメールアドレス数	0
	隔離ボックスの上限ディスクサイズ(MB)	10
ウイルスチェック	アクセス許可対象ソースIP	なし
	契約有無	契約
メール監査アーカイブ	利用上限メールアドレス数	10
	契約有無	契約
	利用上限ディスクサイズ(GB)	10
管理メニュー		
迷惑メールフィルタリング		管理者アカウント管理 接続元IP制限管理
ウイルスチェック		管理者アカウント管理
メール監査アーカイブ		主管理者アカウント管理
多要素認証用メールアドレス		メールアドレス管理

- ※ トップページの表示内容については、「[2.2 管理者用コントロールパネルの表示項目](#)」を参照してください。



アドバイス

- 「管理者用コントロールパネル」は、迷惑メールフィルタリングサービスご利用開始日の当日から、ログインが可能となります。
- 「管理者用コントロールパネル」にログイン後、60 分間何も操作を行わない場合は、自動的にログアウトします。



注意

「管理者用コントロールパネル」の操作にあたり、以下の点にご注意ください。

- 管理者用コントロールパネルの操作中、トップページに戻る場合は、各設定画面の右上に表示される「トップページ」をクリックして戻ってください。**ブラウザの「戻る」ボタンをクリックすると正常に動作しません。**



- ブラウザの「更新」ボタンまたは、F5 ボタンを押下すると、**ログイン画面に遷移します。**
- 「管理者用コントロールパネル」へログインした後に、ブラウザで別タブを開いて、再度「管理者用コントロールパネル」にアクセスした場合は、前タブのログインはセッション切れとなります。**複数タブでの操作は行わないようご注意ください。**



「アクティベートコード」通知メールの例

ここでは、「多要素認証用メールアドレス」を登録する際に送信される、通知メールの例をご案内します。

※ 通知メールの内容は変更になる場合があります。

※ From は送信専用のメールアドレスとなります。返信はしないでください。

<ビジネスの場合>

件名 : NTT ドコモビジネス Biz メール&ウェブ ビジネス アクティベートコード

From : no-reply-bizmw@ocn.ad.jp

本文 :

このメールは NTT ドコモビジネス Biz メール&ウェブ ビジネス メールセキュリティオプションから自動で送信しています。

お客様のアクティベートコードをお知らせします。

アクティベートコード : *****
有効期限 : 2021/10/28 16:59:23

■本メールは送信専用のメールアドレスで送信しております。
本メールに返信いただいてもご回答いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

<プレミアムの場合>

件名 : NTT ドコモビジネス Biz メール&ウェブ プレミアム アクティベートコード

From : no-reply-bizmw@ocn.ad.jp

本文 :

このメールは NTT ドコモビジネス Biz メール&ウェブ プレミアム メールセキュリティオプションから自動で送信しています。

お客様のアクティベートコードをお知らせします。

アクティベートコード : *****
有効期限 : 2021/10/27 16:59:16

■本メールは送信専用のメールアドレスで送信しております。
本メールに返信いただいてもご回答いたしかねますので、あらかじめご了承ください。



「認証コード」通知メールの例

ここでは、『管理者用コントロールパネル』へログインする際に送信される、通知メールの例をご案内します。

※ 通知メールの内容は変更になる場合があります。

※ From は送信専用のメールアドレスとなります。返信はしないでください。

<ビジネスの場合>

件名 : NTT ドコモビジネス Biz メール&ウェブ ビジネス 認証コード

From : no-reply-bizmw@ocn.ad.jp

本文 :

このメールは NTT ドコモビジネス Biz メール&ウェブ ビジネス メールセキュリティオプションから自動で送信しています。

お客様の認証コードをお知らせします。

認証コード : *****

有効期限 : 2021/10/28 17:03:45

■本メールは送信専用のメールアドレスで送信しております。
本メールに返信いただいてもご回答いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

<プレミアムの場合>

件名 : NTT ドコモビジネス Biz メール&ウェブ プレミアム 認証コード

From : no-reply-bizmw@ocn.ad.jp

本文 :

このメールは NTT ドコモビジネス Biz メール&ウェブ プレミアム メールセキュリティオプションから自動で送信しています。

お客様の認証コードをお知らせします。

認証コード : *****

有効期限 : 2021/10/27 17:23:04

■本メールは送信専用のメールアドレスで送信しております。
本メールに返信いただいてもご回答いたしかねますので、あらかじめご了承ください。



2.2 管理者用コントロールパネルの表示項目

管理者用コントロールパネルのトップページに表示される項目について、ご説明します。

ご利用状況

迷惑メールフィルタリング	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
	登録済みメールアドレス数	21
	隔離ボックスの上限ディスクサイズ(MB)	200
ウイルスチェック	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
メール監査アーカイブ	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
	利用上限ディスクサイズ(GB)	20

管理メニュー

迷惑メールフィルタリング	管理者アカウント管理 接続元IP制限管理
ウイルスチェック	管理者アカウント管理
メール監査アーカイブ	管理者アカウント管理
多要素認証用メールアドレス	メールアドレス管理

迷惑メールフィルタリングサービス コントロールパネルへ
メール監査アーカイブサービス コントロールパネルへ
Bizメール&ウェブ プレミアムホームページへ

※ 上図は、プレミアムの画面を例にしています。

※ 「メール監査アーカイブ」は、プレミアムでのみご提供しているオプションです。

	設定項目	説明
1	ご利用状況	- ご契約の有無 - 登録済みのメールアドレス数 などの、お客さま情報が表示されます。
2	管理メニュー	- 迷惑メールフィルタリング機能の管理者アカウント設定、IP 制限管理 - ウイルスチェック機能の警告メール送付先設定 - メール監査アーカイブの管理者アカウント管理 <i>*プレミアムのみ</i> - 多要素認証用のメールアドレス管理 の管理を行います。
3	関連ページへのリンク	関連ページへのリンクが表示されます。



「管理メニュー」については、それぞれ以下を参照してください。

■迷惑メールフィルタリング

- ・ 管理者アカウント管理： [2.3 管理者アカウントの管理](#)
[2.6 管理者 ID のパスワードを忘れた場合](#)
- ・ 接続元 IP 制限管理： [2.4 IP アドレス制限の強制解除](#)

■ウイルスチェック

- ・ 管理者アカウント管理： [7.2 警告メール送付先\(管理者アカウント\) の変更](#)

■メール監査アーカイブ *プレミアムのための機能です

- ・ 管理者アカウント管理： メール監査アーカイブ設定マニュアル「3.1.1 管理者の登録」

■多要素認証用メールアドレス

- ・ メールアドレス管理： [2.5 多要素認証用メールアドレスの管理](#)



2.3 管理者アカウントの管理

ここでは、迷惑メールフィルタリング機能の管理者アカウントの設定について、ご説明します。

※ ウィルスチェック の管理者アカウントについては、「[7.2 警告メール送付先\(管理者アカウント\) の変更](#)」を参照してください。

- 1) 管理者用コントロールパネルのトップページで、「迷惑メールフィルタリング」の「管理者アカウント管理」をクリックします。

ご利用状況

迷惑メールフィルタリング	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
	登録済みメールアドレス数	21
	隔離ボックスの上限ディスクサイズ(MB)	200
ウィルスチェック	接続元IPアドレス制限	なし
	契約有無	契約
メール監査アーカイブ	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
	利用上限ディスクサイズ(GB)	20

管理メニュー

迷惑メールフィルタリング	管理者アカウント管理 接続元IP制限管理
ウィルスチェック	管理者アカウント管理

※ 上図は、プレミアムの画面を例にしています。

- 2) 「管理者アカウント管理」の画面で、登録情報を入力し、「確認」をクリックします。

迷惑メールフィルタリング機能: 管理者アカウント管理

必要な情報を入力し、確認ボタンを押してください。

現管理者アカウント	管理者は未設定です。
新管理者アカウント	
パスワード	
パスワード(確認)	



注意

管理者のパスワード設定を変更する場合は、「新管理者アカウント」と「パスワード」を、再度設定しなおすことで情報が上書きされます。



■ 設定項目

項目名	内容	
現管理者アカウント	現在設定されている管理者の情報が表示されます。 ※ 現管理者が設定されていない場合、「管理者は未設定です」と表示されます。	
現管理者の処理 ※ 本項目は、「現管理者」が設定済みの場合のみ表示されます。	新たに管理者を設定しなおす場合、既存の管理者の設定を選択します。 ■ 削除する：管理者アカウントから削除します。 ■ 一般アドレスとして残す：登録情報を一般アドレスに変更します。	
新管理者のアカウント	設定する管理者のアカウント(メールアドレスの@以前)を入力します。	入力規則 以下の文字が利用可能です。 ・半角英大文字、英小文字 ・数字 0 から 9 まで ・記号の一部： _ (アンダーバー) - (ハイフン) . (ドット) ! = ~ ※ 次の文字は、アドレス登録に利用できません。 # % ' * + / ? ^ ` { \$ & }
パスワード/ パスワード(確認)	プレミアムは「迷惑メールフィルタリングサービス コントロールパネル」 ビジネスは「メールセキュリティ コントロールパネル」 にログインするためのパスワードを入力します。	入力規則 6 文字以上 128 文字以下 以下の文字が利用可能です。 ・半角英大文字、英小文字 ・数字 0 から 9 まで ・記号の一部： ! \$ % & ' () * + - / ; < = > ? 「 」 ^ { } ~ _ # @ : ※ 2 文字以上のアルファベットと、1 文字以上の数字または記号を用いることを推奨します。 ※ 「,」カンマは利用できません。



- 3) 登録情報を確認して、問題がなければ[実行]をクリックします。

迷惑メールフィルタリング機能: 管理者アカウント管理確認

以下のように管理者変更を実施します。
よろしければ実行ボタンを押してください。

旧管理者アカウント	管理者は未設定です。
新管理者アカウント	admin

キャンセル実行

- 4) 「以下のように管理者変更を実施しました」と表示されたら、完了です。

迷惑メールフィルタリング機能: 管理者アカウント管理完了

以下のように管理者変更を実施しました。

旧管理者アカウント	管理者は未設定です。
新管理者アカウント	admin



2.4 IP アドレス制限の強制解除

管理者は、「迷惑メールフィルタリング コントロールパネル（プレミアム用）」「メールセキュリティ コントロールパネル（ビジネス用）」で設定した「IP アドレス制限（ソース IP 制限）」の誤設定等によりログインが出来なくなった場合に、「管理者用コントロールパネル」から設定を**強制的に解除**できます。

※ 「IP アドレス制限（ソース IP 制限）」の詳細は、『**迷惑メールフィルタリング ドメイン管理者マニュアル**』の「**2.3.7 ソース IP 制限**」をご参照ください。

- 1) 管理者用コントロールパネルのトップページから、「接続元 IP アドレス制限」が「あり」の状態を確認したうえで、[接続元 IP 制限管理] をクリックします。

ご利用状況		
迷惑メールフィルタリング	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
	登録済みメールアドレス数	21
	隔離ボックスの上限ディスクサイズ(MB)	200
ウイルスチェック	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
メール監査アーカイブ	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
	利用上限ディスクサイズ(GB)	20

管理メニュー	
迷惑メールフィルタリング	管理者アカウント管理
	接続元IP制限管理
ウイルスチェック	管理者アカウント管理

※ 上図は、プレミアムの画面を例にしています。

- 2) [解除する] にチェックを入れて、[確認] をクリックします。

迷惑メールフィルタリング: 接続元IP制限管理

接続元IP制限を解除する場合は、チェックボックスを選択し、確認ボタンを押してください。

現在の設定： 接続元IP制限なし

接続元IP制限	☒ 解除する
---------	--



- 3) 確認画面が表示されたら、[実行] をクリックします。

迷惑メールフィルタリング: 接続元IP制限管理

接続元IP制限を解除します。
よろしければ実行ボタンを押してください。

実行

- 4) 「制限を解除しました。」と表示されたら、IP アドレス制限の解除は完了となります。

迷惑メールフィルタリング: 接続元IP制限管理

制限を解除しました。



2.5 多要素認証用メールアドレスの管理

多要素認証用メールアドレスの変更

ここでは、管理者用コントロールパネルの「多要素認証用に登録したメールアドレス」を変更する際の手順をご説明します。

- 1) 管理者用コントロールパネルのトップページで、「多要素認証用メールアドレス」の「メールアドレス管理」をクリックします。

ウイルスチェック	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
メール監査アーカイブ	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
	利用上限ディスクサイズ(GB)	20

管理メニュー

迷惑メールフィルタリング	管理者アカウント管理 接続元IP制限管理
ウイルスチェック	管理者アカウント管理
メール監査アーカイブ	管理者アカウント管理
多要素認証用メールアドレス	メールアドレス管理

※ 上図は、プレミアムの画面を例にしています。

- 2) 「メールアドレス変更」画面で、「変更登録するメールアドレス」を入力して「確認」をクリックします。

トップページ

多要素認証用メールアドレス：メールアドレス変更

多要素認証のメールアドレスを入力し、確認ボタンを押してください。

現在の登録メールアドレス	test-tayouso@example.co.jp
変更登録するメールアドレス	test-change@example.co.jp

確認

- 3) 変更するメールアドレスに間違いがないことを確認のうえ、[コード送信] をクリックします。(入力し直す場合は、[キャンセル] をクリックしてください)

トップページ

多要素認証用メールアドレス：メールアドレス確認

以下のように多要素認証のメールアドレスの変更を実施します。
変更登録するメールアドレスに対してアクティベートコードを送信します。
よろしければコード送信ボタンを押してください。
※アクティベートコード：メールアドレス登録を認証するコードとなります。

現在の登録メールアドレス	test-tayouso@example.co.jp
変更登録するメールアドレス	test-change@example.co.jp

- 4) 入力したメールアドレス宛にアクティベートコードが送信されます。**30分以内**に、メール本文に記載されている[アクティベートコード]を入力して、[登録] をクリックします。

トップページ

多要素認証用メールアドレス：メールアドレス登録確認

以下のメールアドレスにアクティベートコードを送りました。
コードを入力することで、メールアドレスの登録が完了します。

変更登録するメールアドレス	test-change@example.co.jp
アクティベートコード	

※ メールが届かない場合は[再送信] をクリックしてください。

- ご利用環境によっては、「迷惑メールフォルダ」や「受信箱以外のフォルダ」に振り分けられている場合もあります。送信されるメールの内容は「[「アクティベートコード」通知メールの例](#)」を参照してください。



- 5) メールアドレスの変更が完了した旨のメッセージが表示されます。

多要素認証用メールアドレス：メールアドレス表示	
以下のようにメールアドレスを変更しました。	
現在の登録メールアドレス	test-change@example.co.jp

以上で、多要素認証用メールアドレスの変更は完了です。

- トップページに戻る場合は、画面右上の [トップページ] をクリックしてください。ブラウザの戻るボタンをクリックした場合は、正常に動作しません。

多要素認証用メールアドレスの強制解除

多要素認証用に登録したメールアドレスが、何らかの理由により認証コードを受け取れない状態になった場合などは、お客様サポートサイトの『お問い合わせフォーム』から、「**お問い合わせ内容**」欄に以下の【必要情報】をご記載のうえ、お問い合わせください。

<お問い合わせフォーム | Biz メール&ウェブ プレミアム r3 | お客様サポートサイト>

<https://support.ntt.com/mw-premiumr3/inquiry/input/pid2200001fcc>

<お問い合わせフォーム | Biz メール&ウェブ ビジネス r3 | お客様サポートサイト>

<https://support.ntt.com/mw-businessr3/inquiry/input/pid2200001i33>

【必要情報】

- ご契約サービス名
- 該当ドメイン名

※ 【必要情報】の記載がない場合は、解除のご依頼を承ることができません。

※ 複数サービスをご契約されている場合や、複数ドメインをご利用の場合は、サービス名・ドメイン名にお間違えのないようご注意ください。

受付時間 : 平日 9:00~18:00

※ 夜間・土曜・日曜・祝日・年末年始にいただいたご依頼は、翌営業日の受付となります。

- 解除が完了した後、お問い合わせフォームにご入力いただいた「ご連絡先メールアドレス」宛に、ご連絡いたします。
- 解除が完了すると、多要素認証用メールアドレスを登録する前の状態に戻りますので、[「2.1 管理者用コントロールパネルへのログイン方法」の 手順 1](#) から、再度、登録作業を行ってください。



2.6 管理者 ID のパスワードを忘れた場合（迷惑メールフィルタリング機能）

迷惑メールフィルタリング機能の「管理者 ID のパスワード」を忘れた場合の対処は、以下の 2 ステップとなります。

Step 1 : ダミーのアカウント ID を作成し、管理者権限を委譲する。

Step 2 : ダミーのアカウント ID から元の管理者に管理者権限を戻す（ここで新しいパスワードを設定します）。

以下で、詳細な手順を説明します。

Step 1 : ダミーのアカウント ID を作成し、管理者権限を委譲する。

- 1) 管理者用コントロールパネルのトップページで、「迷惑メールフィルタリング」の「管理者アカウント管理」をクリックします。

利用上限ディスクサイズ(GB)	20
管理メニュー	
迷惑メールフィルタリング	管理者アカウント管理 接続元IP制限管理
ウイルスチェック	管理者アカウント管理

- 2) 「現管理者アカウント」が表示されます。各項目を以下の通り入力してから、[確認] をクリックしてください。

- ・現管理者の処理 : [一般アドレスとして残す] を選択する
- ・新管理者アカウント : 「dummy」と入力する
- ・パスワード : ダミーのパスワード（任意の文字列）を入力する

迷惑メールフィルタリング: 管理者アカウント管理

必要な情報を入力し、確認ボタンを押してください。

現管理者アカウント	kanrisha
現管理者の処理	☐ 削除する ☒ 一般アドレスとして残す
新管理者アカウント	dummy
パスワード	*****
パスワード(確認)	*****



- 3) 確認画面が表示されたら、[実行] をクリックします。

迷惑メールフィルタリング: 管理者アカウント管理確認

以下のように管理者変更を実施します。
よろしければ実行ボタンを押してください。

旧管理者アカウント	kannrisha
旧管理者の処理	一般アドレスとして残す
新管理者アカウント	dummy

キャンセル実行

- 4) 「以下のように管理者変更を実施しました」と表示され、
ダミーのアカウント ID に管理者権限が委譲された状態になります。
ページ右上の [トップページ] をクリックして、Step 2 の手順に進みます。

ログアウト
マニュアル

トップページ

迷惑メールフィルタリング: 管理者アカウント管理完了

以下のように管理者変更を実施しました。

旧管理者アカウント	kannrisha
旧管理者の処理	一般アドレスとして残す
新管理者アカウント	dummy

Copyright © 2017 NTT Communications

**Step 2 : ダミーのアカウント ID から元の管理者に、管理者権限を戻す。**

- 1) トップページで、再び「迷惑メールフィルタリング」の「管理者アカウント管理」をクリックします。

利用上限メールアドレス数		200
管理メニュー		
迷惑メールフィルタリング機能	管理者アカウント管理 接続元IP制限管理	
ウイルスチェック機能	管理者アカウント管理	

- 2) ダミーのアカウント ID が「現管理者」として表示されます。各項目を以下の通り入力してから、「確認」をクリックしてください。

- ・現管理者の処理 : 「削除する」を選択する
- ・新管理者アカウント : 「元の管理者 ID」を入力する
- ・パスワード : 新しいパスワードを入力する

迷惑メールフィルタリング: 管理者アカウント管理	
必要な情報を入力し、確認ボタンを押してください。	
現管理者アカウント	dummy
現管理者の処理	☒ 削除する ☐ 一般アドレスとして残す
新管理者アカウント	kanrisha
パスワード	*****
パスワード(確認)	*****
確認	



- 3) 確認画面が表示されたら、[実行] をクリックします。

迷惑メールフィルタリング: 管理者アカウント管理確認

以下のように管理者変更を実施します。
よろしければ実行ボタンを押してください。

旧管理者アカウント	dummy
旧管理者の処理	削除する
新管理者アカウント	kanrisha

キャンセル実行

- 4) 「以下のように管理者変更を実施しました」と表示され、元の管理者が「現管理者」に戻った状態になります。

ログアウト
トップページ マニュアル

迷惑メールフィルタリング: 管理者アカウント管理完了

以下のように管理者変更を実施しました。

旧管理者アカウント	dummy
旧管理者の処理	削除する
新管理者アカウント	kanrisha

※ 管理者には新しいパスワードが設定され、ダミーのアカウント ID は削除されました。

管理者 ID のパスワードを忘れた場合の対処は、以上で完了です。



3 迷惑メールフィルタリングの設定

3.1 迷惑メールフィルタリングの機能概要

管理者用コントロールパネルで迷惑メールフィルタリング機能の「管理者アカウント」の設定が完了したら、**迷惑メールフィルタリング コントロールパネル**で「メールアカウント登録」や「フィルタリング設定」を行います。

「管理者」と「一般利用者」では、操作できる内容が次のとおり異なります。

項目		管理者		一般利用者
		ドメイン全体	メールアドレス単位	自アドレス
迷惑メールフィルタリング設定	迷惑メール処理方法の設定	○	○	×
	受信拒否リストの設定	○	○	○
	受信許可リストの設定	○	△※3	△※3
	優先フィルタの設定	○	×	×
	宛先不明メール対策の設定	○	×	×
	SPF による判定機能	○	×	×
隔離ボックスの操作設定	一覧表示、内容閲覧、検索、削除、受信、転送 ※1	○	○	○
	ディスク容量設定	×	○	×
	ディスク使用量の確認	○	○	○
	隔離メール保存期間の設定	×	○	×
	隔離メールの概要通知設定	×	△※2	○

※1 隔離されたメールの指定されたメールアドレスへの転送は、「管理者のみ」ご利用いただけます。

※2 通知メールは、管理者へは通知されません。

※3 優先フィルタの設定が「アドレスフィルタ優先」の場合に、ご利用いただけます。



アドバイス

「迷惑メールフィルタリング コントロールパネル（プレミアム用）」「メールセキュリティ コントロールパネル（ビジネス用）」のご利用方法の詳細は、以下のマニュアルをご参照ください。

- 迷惑メールフィルタリングサービス ドメイン管理者マニュアル
- 迷惑メールフィルタリングサービス 利用者マニュアル



3.2 参考情報

迷惑メールフィルタリング機能の設定項目や機能についてご説明します。

【参考】迷惑メール/SPF の判定・度合い付与

迷惑メール判定度付与	判定 DB にもとづく迷惑メール度合いをメールのヘッダに自動付与します。 ■ヘッダの表示内容例 X-OCN-SPAM-CHECK:100.00% (少数第 2 位まで)
SPF 判定結果付与	SPF 認証結果をヘッダーに自動付与します。 ■ヘッダの表示内容例 Received-SPF: none (OCN: hp-sv010.toc: 10.70.3.21 is neither permitted nor denied by domain of nospf.spfcheck.toc)

【参考】迷惑メールのフィルタリング設定

管理者は「ドメイン全体」および「メールアドレス単位」で設定できます。

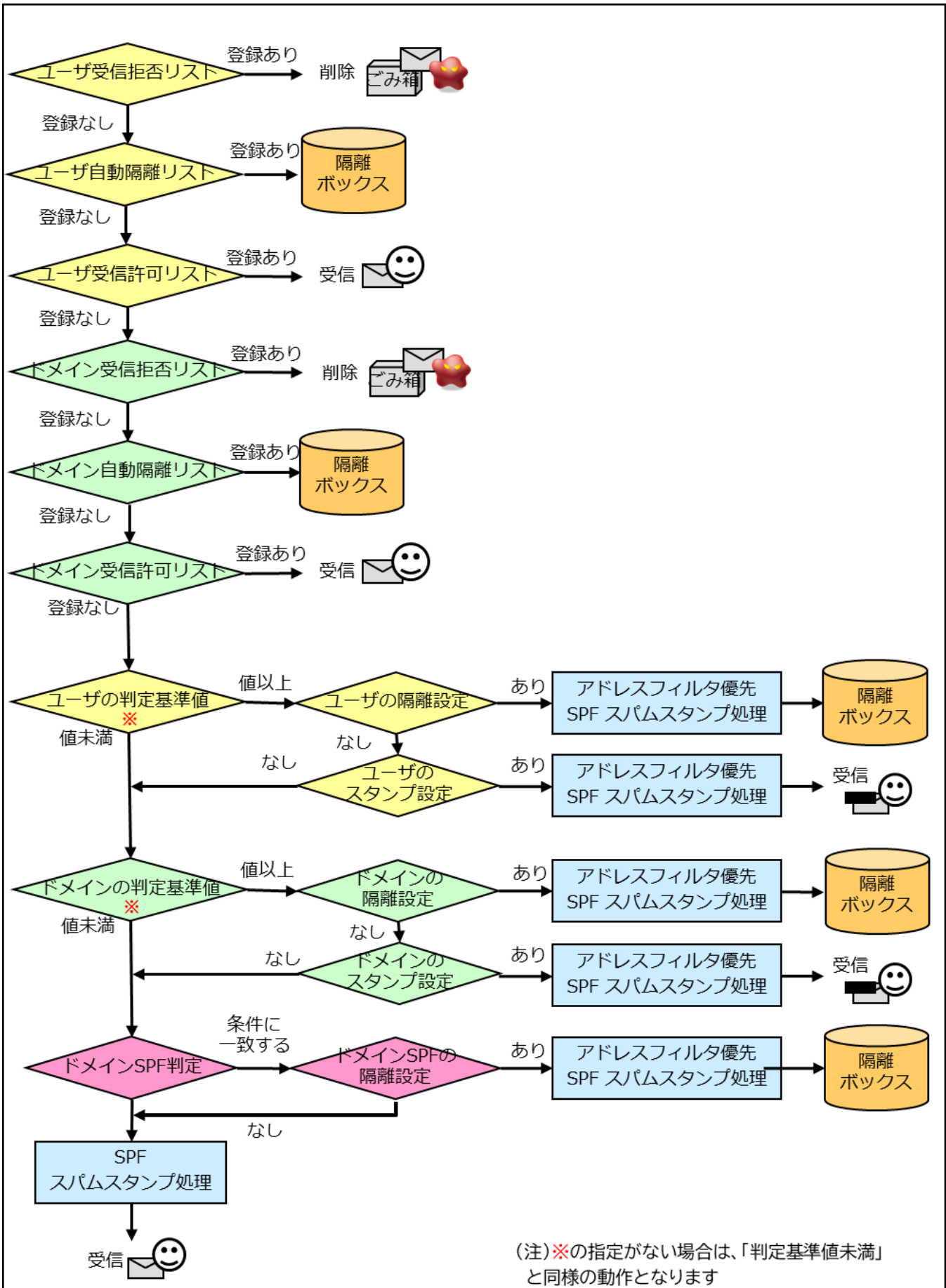
迷惑メールの自動処理方法の設定	●迷惑メールとする基準値を定義します。 ●定義した基準値を超えた迷惑メールの処理方法を設定できます。	
	迷惑メール基準値	90%以上、100%のいずれかを選択 ※100%推奨
	迷惑メールの処理方法 ※基準値を定義し、いずれかを選択します	「そのまま受信する」 「メールの件名(Subject) に文字列を挿入し、受信する」 「MEIWAKU!!」、「SPAM!!」 のいずれかを選択 「隔離ボックスに自動的に隔離する」
	初期設定	2018 年 3 月以降に開通のお客さま - 迷惑メール基準値：判定 90% - 迷惑メールの処理方法：メールの件名に「SPAM!!」を挿入し、受信する ※2018 年 2 月以前にご利用開始のお客さまは、ご契約時の状況により初期設定が異なりますのでご注意ください。
受信拒否リスト設定	●迷惑メール判定にかかわらず、受信拒否するメールの条件を設定し、条件に一致したメールを自動的に削除できます。 ※「ドメイン全体」に適用する条件、および「アドレス個々」に適用する条件を、各々300個まで設定できます。 ※ 削除されたメールは確認できません。また、差出人に削除通知はされません。	
	条件設定	- Envelop From：アドレス指定、ドメイン指定 - 件名：完全一致、部分一致 - 任意のヘッダ：完全一致、部分一致 - 送信元ヘッダ：アドレス指定、ドメイン指定



【参考】迷惑メールのフィルタリング設定（続き）

受信許可 リスト設定	●迷惑メール判定にかかわらず、受信許可するメールの条件を設定し、条件に一致したメールを自動的に受信できます。 ※「ドメイン全体」に適用する条件、および「アドレス個々」に適用する条件を、各々300個まで設定できます。（「アドレスフィルタ優先」に設定している場合に、アドレス個々の許可リストをご利用できます）	
	条件設定	・ Envelop From : アドレス指定、ドメイン指定 ・ 件名 : 完全一致、部分一致 ・ 任意のヘッダ : 完全一致、部分一致 ・ 送信元ヘッダ : アドレス指定、ドメイン指定
自動隔離 リスト設定	●迷惑メール判定にかかわらず、自動隔離するメールの条件を設定し、条件に一致したメールを自動的に隔離できます。 ※「ドメイン全体」に適用する条件、および「アドレス個々」に適用する条件を、各々300個まで設定できます。	
	条件設定	・ Envelop From : アドレス指定、ドメイン指定 ・ 件名 : 完全一致、部分一致 ・ 任意のヘッダ : 完全一致、部分一致 ・ 送信元ヘッダ : アドレス指定、ドメイン指定
優先フィルタ の設定	●迷惑メールに対して、指定した処理方法の優先順位を選択できます。 ※ 処理順位については、次ページ以降の、【参考】迷惑メールのフィルタリング処理順位（「アドレスフィルタ優先」の場合、「ドメインフィルタ優先」の場合）を参照してください。	
	初期設定	アドレスフィルタ優先
宛先不明メール 対策	●迷惑メールフィルタリングの機能に登録されていないメールアドレス宛のメールをブロックできます。	
	条件設定	「不明な宛先を含むメールに対する処理」の ON/OFF
	初期設定	無効(OFF)
SPF による 判定機能	●ドメイン名を詐称した「なりすまし」メールの対策として、SPF 認証（送信元ドメイン認証）の結果をヘッダに付与し、認証結果に基づき件名ヘスタンプの付与を行うことができます。または隔離ボックスに格納されます。	
	条件設定	・ NG メールと判定する SPF 判定結果 : fail、fail および softfail ・ NG メールに対する処理 : 隔離する、件名の先頭に文字列を挿入する
	初期設定	無効

【参考】フィルタ処理順位：「アドレスフィルタ優先」の場合

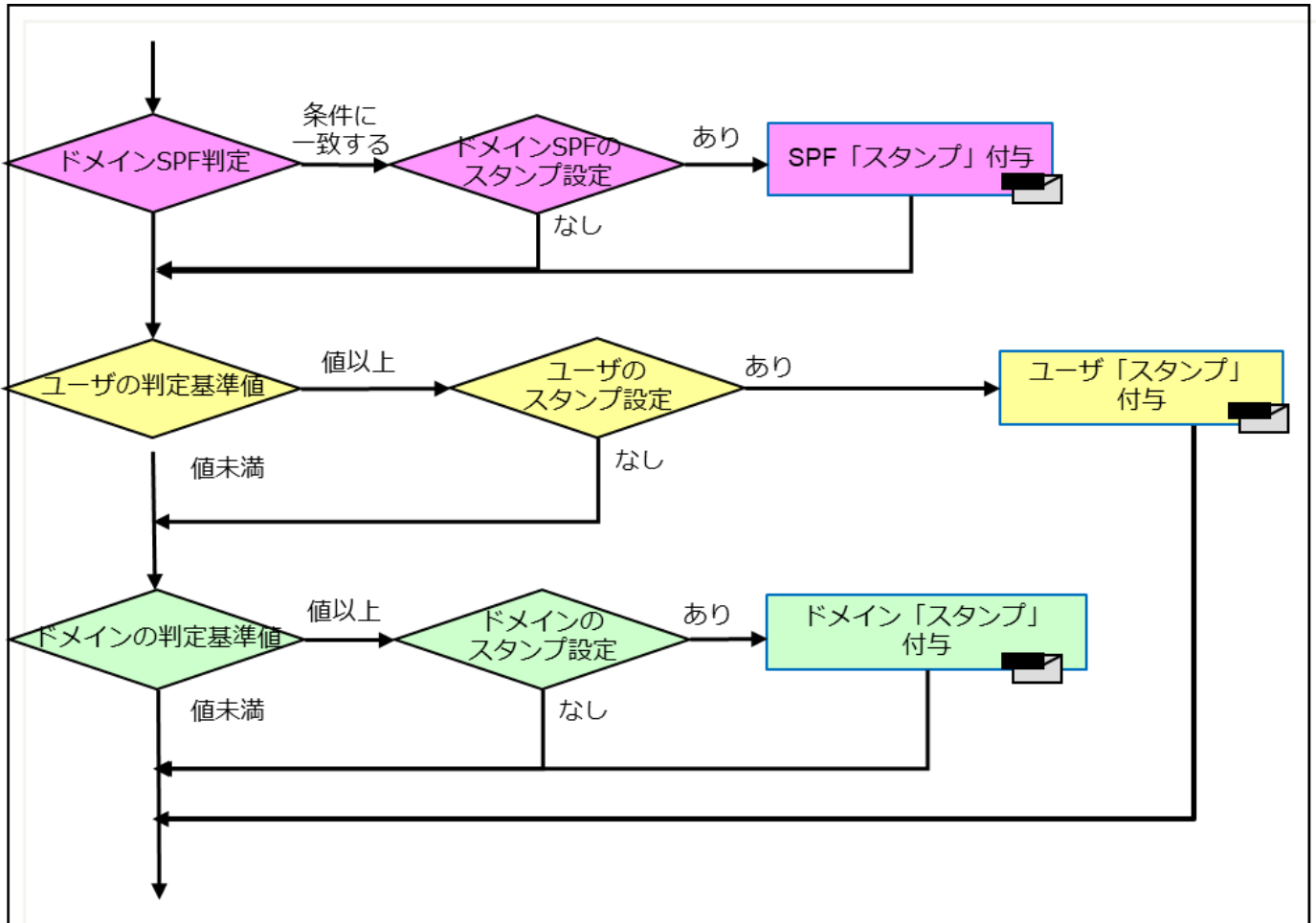




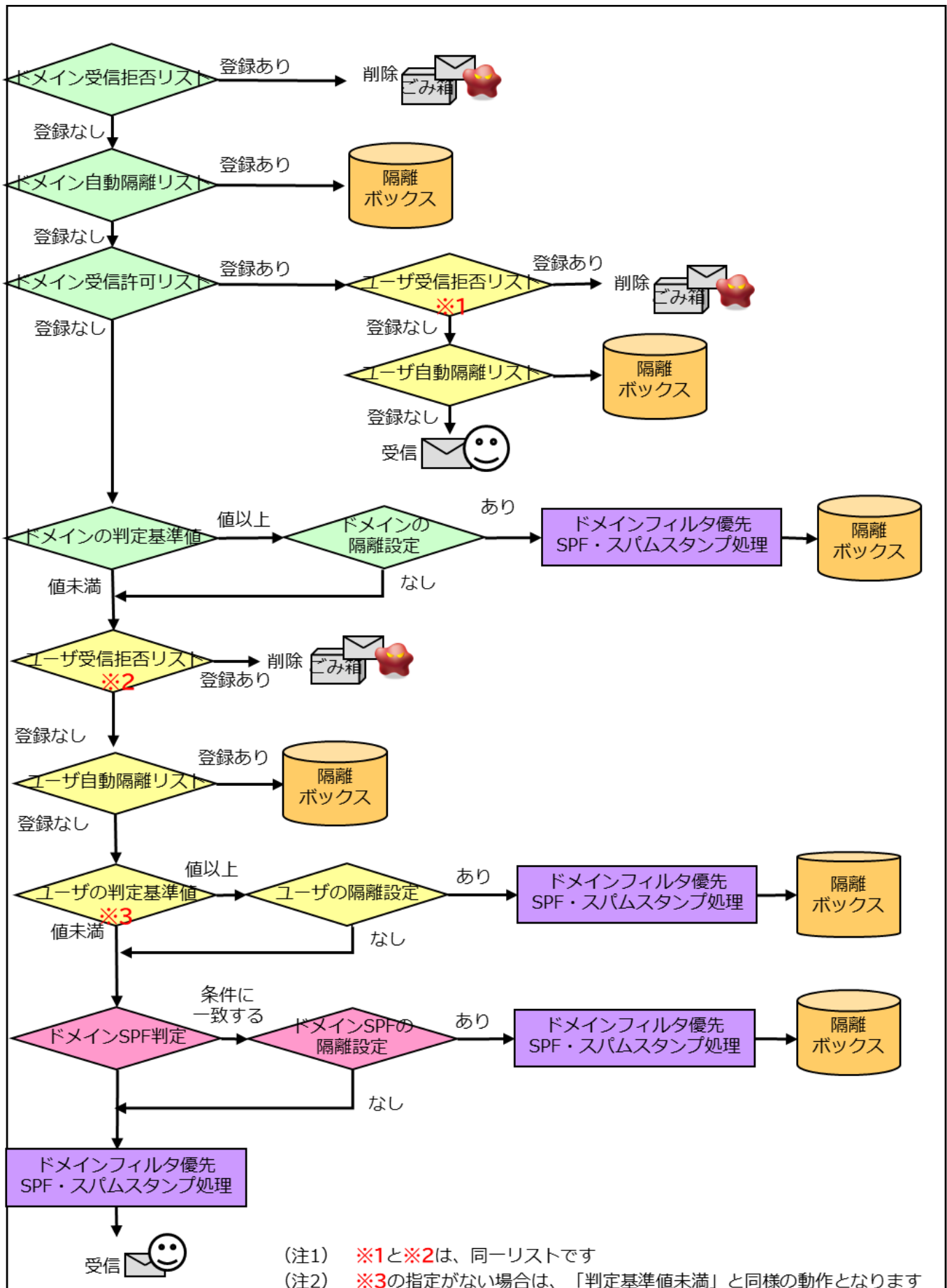
【参考】フィルタ処理順位：「アドレスフィルタ優先」の場合（続き）

アドレスフィルタ優先
SPF スпамスタンプ処理

の詳細



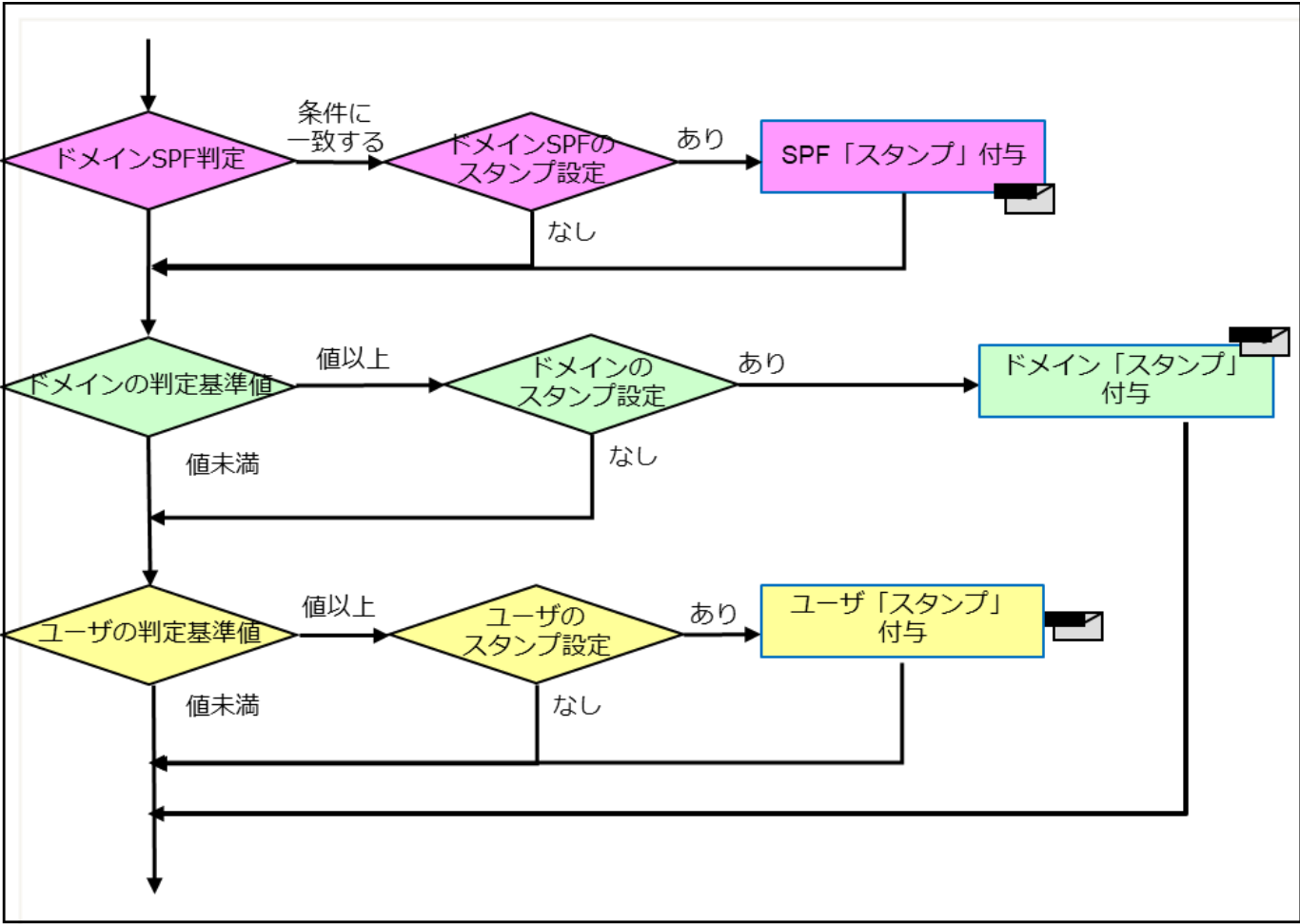
【参考】フィルタ処理順位：「ドメインフィルタ優先」の場合





【参考】フィルタ処理順位：「ドメインフィルタ優先」の場合（続き）

ドメインフィルタ優先
SPF スпамスタンプ処理

の詳細

迷惑メールフィルタリングの設定



【参考】隔離ボックスの操作

迷惑メールの自動処理方法の設定を「**隔離ボックスに自動的に隔離する**」にした場合、迷惑メール**判定基準値以上**のメールは、隔離ボックスに配送されます。隔離ボックスに配送されたメールは、「迷惑メールフィルタリング コントロールパネル（プレミアム用）」「メールセキュリティ コントロールパネル（ビジネス用）」で、以下の操作ができます。

- 管理者 : ドメイン全体、メールアドレス単位に対して操作できます。
- 一般利用者 : 自分宛のメールのみ操作できます。

閲覧	● 隔離されたメールの一覧、個々のメールの内容を閲覧できます。	
	一覧表示項目	送信元、宛先（管理者のドメイン全体表示のみ）、件名、日付、迷惑メール度合いを一覧で表示します。
検索	● 隔離されたメールの一覧から、条件を指定して、検索できます。	
削除	● 隔離されたメールを削除できます。	
受信	● 受信許可リストへは登録せずに、メールを受信します。	
受信許可リストに登録	● 隔離されたメールを受信するとともに、「受信許可リスト」に登録できます。	
	「送信者のメールアドレスを受信許可リストへ登録する」 ▶「受信許可リスト」に、送信者のメールアドレスを登録して、メールを受信します。今後、この送信者から送られてきたメールは隔離されません。	
	「送信者のドメインを受信許可リストへ登録する」 ▶「受信許可リスト」に、送信者のドメインを登録して、メールを受信します。今後、このドメインから送られてきたメールは隔離されません。	
転送(管理者のみ)	● 隔離されたメールを、任意のメールアドレスに転送できます。	



【参考】隔離ボックスの設定

隔離ボックスの ディスク容量制限	● 管理者は、メールアドレス単位で、隔離ボックスのディスク容量の上限を設定できます。 ※ 上限を超えると、送信元にエラーが返信されます。	
隔離ボックスの ディスク容量警告 メール	契約(ドメイン) 単位	契約容量の 80%を超えると、管理者宛に警告メールを通知します。
	メールアドレス単位	メールアドレスに設定した上限値の 80%を超えると、利用者メールアドレス宛に警告メールを通知します。
メール保存期間	● 管理者は、メールアドレス単位で、隔離されたメールの保存期間を設定できます。 ※ 設定した保存期間を超えるとメールは自動的に削除されます。	
	設定可能な保存期間	1 ～ 14 日間 (初期設定は 14 日間)
隔離メールの一覧 通知	● 管理者・一般利用者はメールアドレス単位で、隔離されたメールの概要の一覧を通知設定することができます。	
	通知可能な周期	1 ～ 14 日間 (初期設定は通知なし)



【参考】宛先不明メール対策の設定

迷惑メールフィルタリングに登録されていないメールアドレス宛のメールに対して、送信元へエラーメール(UserUnknown メール) を返し、お客さまのメールサーバーへは配信を行わない機能です。

「宛先不明メール対策」機能は、管理者が、「迷惑メールフィルタリング コントロールパネル（プレミアム用）」「メールセキュリティ コントロールパネル（ビジネス用）」で、ドメイン全体への設定として登録できます。



注意

- アドレスの登録がない場合、「存在しないメールアドレス」とみなして送信元にエラーメールを返してしまいます。必ず、ご利用アドレスを全て登録して、本機能をご利用ください。（ご利用開始後にメールアドレスを追加した際は、都度、本機能へのアドレス登録が必要です。）
- 本機能ご利用の場合、迷惑メール集計レポートは、「実在するアドレス宛のメール通数」を集計したものになります。（ドメイン全体のレポートの受信メール数に、エラー処理したメール通数は含まれません。）
- メールリングリストやメールエイリアスをご利用の場合にも、メールアドレスと同様に、登録が必要です。

【参考】SPF による判定機能

本サービスでは、受信したメールについて、送信元の認証（送信ドメイン認証：SPF）を行い、認証結果をメールヘッダに追加しています。

この認証結果を元に、送信元を偽って送られた「なりすまし」メールの可能性があるメールに対して、件名にスタンプを付与したり、隔離する事ができます。

【参考】誤判定メールのフィードバック

本サービスにおける迷惑メールの検出率は 98%を超えていますが、まれに誤検出があった場合は、該当のメールを、管理者および一般利用者が判定データベースへフィードバックできます。

フィードバック	正常メールのフィードバック	本来正常なメールが誤って迷惑メールと判断された場合、その正常メールをフィードバックすることができます。
	迷惑メールのフィードバック	本来迷惑メールであるのに、迷惑メールと判定されなかったメールをフィードバックできます。



4 オプションサービス管理外メールの受信制限

本章は、『Biz メール&ウェブ プレミアム』 のみでご提供している機能のご案内です。

4.1 オプションサービス管理外メールの受信制限 の概要

オプションサービス管理外メールの受信制限とは、ご契約のホスティングサーバへ直接メールの配送を行う迷惑メール送信者からのメールをブロックする機能です。

この機能をご利用いただくには、「Biz メール&ウェブ プレミアム のコントロールパネル」での設定が必要です。



アドバイス

- 「Biz メール&ウェブ プレミアム のコントロールパネル」 へのログイン方法は『**セットアップマニュアル**』を参照して下さい。

4.2 オプションサービス管理外メールの受信制限 の設定

- 1) 「Biz メール&ウェブ プレミアム のコントロールパネル」に、管理者の ID/パスワードでログインします。
- 2) 画面左メニューの「メールサーバー」から「迷惑メールフィルタリング」をクリックします。

Biz メール&ウェブ プレミアム r3

ホーム メール ファイル

管理者設定 / メールサーバー / 迷惑メールフィルタリング

迷惑メールフィルタリング設定

ホスティングオプションサービス管理者用コントロールパネルのログイン画面を開きます。
ご利用いただくにはオプションサービスのご契約が別途必要となります。
ホスティングオプションサービス管理者用コントロールパネルへのログインに利用する認証IDおよびパスワードは契約情報をご確認ください。

ログイン画面を開く

オプションサービス管理外メールの受信制限

意図的に上記オプションサービスを經由せずに送られてくるメールを拒否できます。
オプションサービスを契約しているドメインの中から受信を制限したいドメインを設定してください。
ご利用いただくにはオプションサービスのご契約が別途必要となります。
ドメインを設定したまま上記オプションサービスを解約した場合、メールが受信できずに送信者にエラーで返信されますのでご注意ください。

受信を制限するドメインを入力 **追加**

表示 10 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0

☐	ドメイン	操作
- 現在、表示するレコードはありません -		



- 3) 「オプションサービス管理外メールの受信制限」の欄に、ご契約ドメインを入力して、[追加] をクリックします。

オプションサービス管理外メールの受信制限

意図的に上記オプションサービスを經由させずに送られてくるメールを拒否できます。[?]
 オプションサービスを契約しているドメインの中から受信を制限したいドメインを設定してください。
 ご利用いただくにはオプションサービスのご契約が別途必要となります。
 ドメインを設定したまま上記オプションサービスを解約した場合、メールが受信できずに送信者にエラーで返信されますのでご注意ください。

表示 / ページ 0 - 0 件目を表示 全数: 0

☐ ドメイン
— 現在、表示するレコードはありません —

- 4) 「<お客様ドメイン>を登録しました。」と表示されて、ドメインの欄に、該当のドメインが表示されていれば完了です。

管理者設定 / メールサーバー / 迷惑メールフィルタリング

example.co.jpを登録しました。

迷惑メールフィルタリング設定

ホスティングオプションサービス管理者用コントロールパネルのログイン画面を開きます。
 ご利用いただくにはオプションサービスのご契約が別途必要となります。
 ホスティングオプションサービス管理者用コントロールパネルへのログインに利用する認証IDおよびパスワードは契約情報をご確認ください。

オプションサービス管理外メールの受信制限

意図的に上記オプションサービスを經由させずに送られてくるメールを拒否できます。[?]
 オプションサービスを契約しているドメインの中から受信を制限したいドメインを設定してください。
 ご利用いただくにはオプションサービスのご契約が別途必要となります。
 ドメインを設定したまま上記オプションサービスを解約した場合、メールが受信できずに送信者にエラーで返信されますのでご注意ください。

表示 / ページ 1 - 1 件目を表示 全数: 1

☐ ドメイン	操作
☐ example.co.jp	削除



サービスを廃止する場合は、必ず、サービス廃止日までに「ドメインの解除」を行ってください。サービス廃止後に登録ドメインが残っていると、当該ドメインへのメールが届かなくなります。

● ドメインの解除方法

上記手順4)の画面で、解除するドメインのチェックボックスを選択して、[削除] をクリックしてください。



5 お客さま DNS サーバーの設定

お客さま管理の DNS サーバーをご利用の場合、**「本オプションサービスのご利用開始日」以降**に、ご利用ドメイン名の DNS サーバー設定(MX レコード) を変更していただく必要があります。

※ MX レコードを変更することで、本機能をご利用いただけます。

※ Biz メール&ウェブ標準の DNS をご利用の場合は、本作業は不要です。

Biz メール&ウェブ ビジネス のお客さま

DNS サーバー	変更内容	変更方法
お客さま管理の DNS サーバーをご利用の場合	お客さまドメイン名の MX レコードに、メールセキュリティ用サーバーのホスト名を指定します。	『セットアップマニュアル』の「 6.2.1 メールセキュリティサービスをご利用の場合 」をご覧ください。
Biz メール&ウェブ ビジネスの DNS サーバーをご利用の場合	変更不要	—

Biz メール&ウェブ プレミアム のお客さま

DNS サーバー	変更内容	変更方法
お客さま管理の DNS サーバーをご利用の場合	お客さまドメイン名の MX レコードに、迷惑メールフィルタリング用サーバーのホスト名を指定します。	『セットアップマニュアル』の「 6.2.1 ウイルスチェック/迷惑メールフィルタリングをご利用の場合 」をご覧ください。
Biz メール&ウェブ プレミアムの DNS サーバーをご利用の場合	変更不要	—



注意

- DNS サーバー設定 (MX レコード) の変更は、**ご利用開始日以降**に実施してください。ご利用開始日前に実施した場合、メールを受信できない場合があります。
- 迷惑メールフィルタリングサービス/メールセキュリティサービスの廃止時は、**廃止申込み前**に、お客さま DNS サーバーの設定変更（ドメイン名の MX レコードに、**「迷惑メールフィルタリング用/メールセキュリティ用 サーバー」以外のホスト名を指定する**）を行ってください。
- ※ 設定値は、各プランの『セットアップマニュアル > 6.2 お客さま DNS サーバーの設定』をご参照ください。
- 迷惑メールフィルタリング機能を経由して受信するメールは、「お客さまドメインの A レコード」を指すサーバーに向けて配送されます。お客さまドメインの A レコードは、必ず、ご利用の Biz メール&ウェブのサーバーの IP アドレスを指定する必要があります。
- ※ Biz メール&ウェブのサーバーの IP アドレスは、『ご利用内容のご案内』をご確認ください。



6 ご利用上の注意事項

1. ご利用開始にあたり、以下の設定が必要です。

(1) ユーザ登録

本機能は、ご契約ドメイン宛のメールを迷惑メール判定しますが、初期設定時には、ご契約ドメインで利用している「メールアドレス」のほか、「メーリングリスト」や「メールエイリアス」を全て登録する必要があります。未登録のアドレスがあった場合は、下記の2点についてご注意ください。

- ◆ 隔離機能などフィルタリングサービスの利用ができない。
- ◆ 宛先不明メール対策機能を有効にした際に、受信メールがユーザ存在無しとして判断され、送信者へエラーで返信される。

「Biz メール&ウェブビジネス」「Biz メール&ウェブプレミアム」のコントロールパネルでユーザーの追加/変更を行った場合は、本機能のユーザーの追加/変更も、別途行う必要があります。なお、[ユーザ登録は、各プランごとに定められた利用アドレス数を上限](#)として行うことができます。

(2) フィルタリング設定

利用開始時は、迷惑メール度合いを判定し、メールヘッダに判定度合いを百分率で付与する設定になっています。迷惑メールを自動的に隔離したい場合、またはメールの件名に「SPAM!!」などの文字列を挿入したい場合は、フィルタリング設定を行ってください。

(3) DNS の設定

お客さま管理の DNS サーバーをご利用の場合は、MX レコードに指定するサーバー名として、所定のメール受信用ゲートウェイサーバー名を設定する必要があります。各レコードの設定値は『[セットアップマニュアル](#) > 6.2 お客さま DNS サーバーの設定』をご参照ください。

- ※ 「Biz メール&ウェブビジネス」「Biz メール&ウェブプレミアム」標準の DNS サーバーをご利用の場合は、本設定は N T T ドコモビジネスにて行います。

2. 本機能は、弊社指定のソフトウェアを利用しています。

稀に、お客さまが意図する判定をしない場合がありますので、ご注意ください。

- ◆ 隔離ボックスの機能をご利用の場合は、定期的に隔離ボックスにアクセスし、ご確認ください。
- ◆ お客さまの意図する判定をしない場合、受信許可リスト/受信拒否リストの設定をあわせてご利用ください。

3. 隔離ボックスに配送された隔離メールは、一定期間後(初期設定では 14 日間)、自動的に削除されます。また、[隔離ボックス内のメールはウイルスチェック処理前の状態](#)のため、隔離メールの転送を行う際はご注意ください。

4. 受信拒否リストに登録した条件と一致した場合、そのメールは削除されるため、リスト登録時は誤登録のないよう、ご注意ください。

- ※ ドメイン全体の受信拒否リストに登録されたメールは、ドメイン内の全ての利用者が受信できなくなります。



7 ウイルスチェック機能

7.1 機能概要

「ウイルスチェック」の機能では、お客さまが Biz メール&ウェブのサーバーを利用して送受信するメールに対して、添付ファイルや本文に感染しているウイルスを除去する機能を提供します。

この機能は、当オプションサービスをお申し込みの時点で有効になっています。

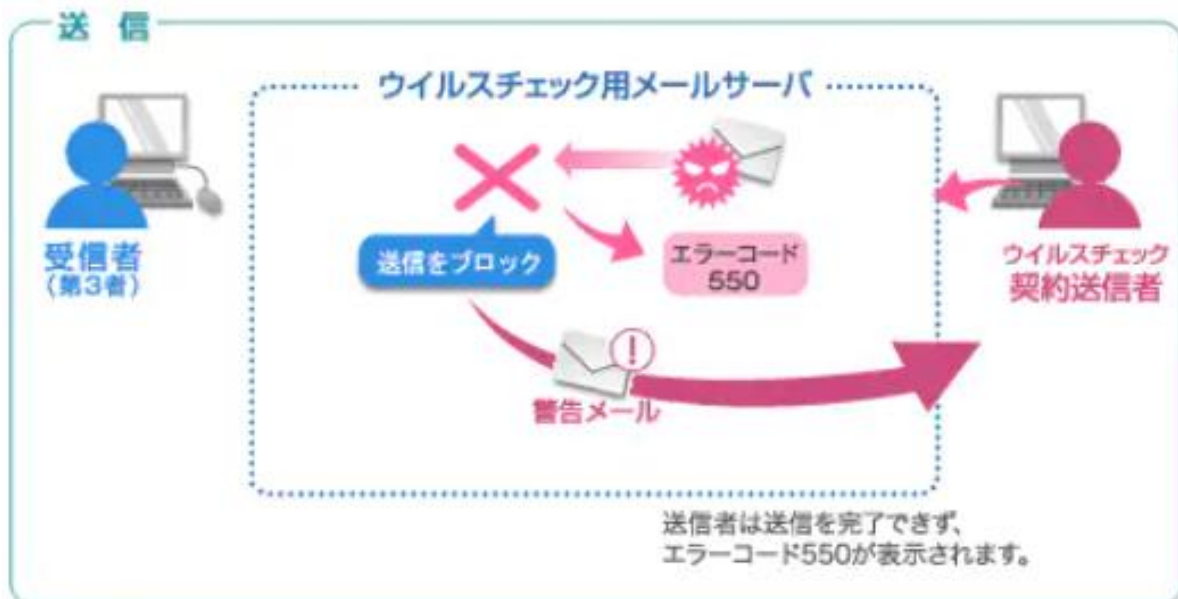
◆ ビジネス のお客様

『メールセキュリティ』をお申込みいただくと、「迷惑メールフィルタリング」と「ウイルスチェック」の機能が含まれています。

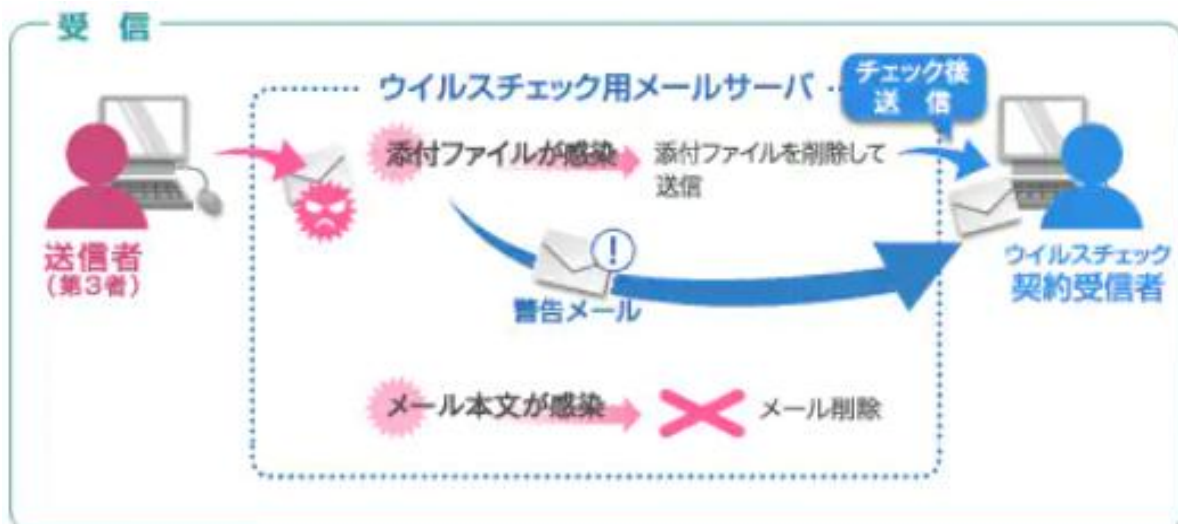
◆ プレミアム のお客様

「迷惑メールフィルタリング」と「ウイルスチェック」は別々のオプションとしてご提供しているため、個々のお申し込みとなります。

メール送信/受信時の動作



送信時



受信時



メール送信/受信時にウイルスを検知・処理した場合、**ウイルスチェック機能の管理者** と **ウイルスメールの送信/受信者** に対し、ウイルスチェックサーバーからメールで通知されます。

- **警告メールの送信有無や記載内容は、お客さまのご契約状況により異なります。**
- 警告メールが送信される管理者のメールアドレスは、初期値で [postmaster@ ご契約ドメイン] が設定されています。変更方法については、「[7.2 警告メール送付先\(管理者アカウント\) の変更](#)」を参照してください。

※ ウイルスチェックの仕様・詳細については、以下の弊社ページをご参照ください

ビジネス のお客様

<Biz メール&ウェブ ビジネス メールセキュリティ ～ウイルスチェック～>

<https://www.ntt.com/business/services/cloud/rental-server/biz/function/mailsecurity.html#virus>

プレミアム のお客様

<Biz メール&ウェブ プレミアム ウイルスチェック>

<https://www.ntt.com/business/services/cloud/rental-server/vps/service05.html>

ウイルス警告メールを受信した時の対処方法

ウイルスメールをブロックまたはウイルスを削除していますので、特に対処は必要ありませんが、**高頻度で受信する場合は、社内のパソコンに対し、セキュリティソフトを用いてウイルススキャンを実施する事を推奨します。**



7.2 警告メール送付先(管理者アカウント) の変更

「ウイルスチェックの管理者（ウイルス検知メールの送付先）」は、初期状態では「postmaster（postmaster@ ご契約ドメイン）」に設定されています。



アドバイス

<プレミアムのお客様の場合>

初期値「postmaster（postmaster@ ご契約ドメイン）」の状態、ドメイン管理者にメールが送付されます。

<ビジネスのお客様の場合>

初期値のままご利用になる場合、[postmaster@ ご契約ドメイン] 宛のメールを受信するには、下記いずれかの設定が必要です。

【設定1】 “postmaster” というユーザーを登録してメールの権限を付与する
参照） セットアップマニュアル「4.2.1 ユーザーの新規作成について」

【設定2】 管理者または利用者のメールアドレスに <postmaster@ お客さまドメイン> というメールエイリアスを設定する
参照） 管理者マニュアル「2.2.2 メールアドレスの設定方法」

必要に応じて、以下の手順で変更してください。

1) 管理者用コントロールパネルにログインします。

※ ログイン方法は、「[2.1 管理者用コントロールパネルへのログイン方法](#)」をご参照ください。

2) 「ウイルスチェック」の「管理者アカウント管理」をクリックします。

ご利用状況		
迷惑メールフィルタリング	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
	登録済みメールアドレス数	21
	隔離ボックスの上限ディスクサイズ(MB)	200
	接続元IPアドレス制限	なし
ウイルスチェック	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
メール監査アーカイブ	契約有無	契約
	利用上限メールアドレス数	3000
	利用上限ディスクサイズ(GB)	20
管理メニュー		
迷惑メールフィルタリング	管理者アカウント管理 接続元IP制限管理	
ウイルスチェック	管理者アカウント管理	

※ 上図は、プレミアムの画面を例にしています。



- 3) 「新管理者アカウント」欄に、設定する管理者アカウントを入力して、[確認] ボタンをクリックします。

ウイルスチェック: 管理者アカウント管理

必要な情報を入力し、確認ボタンを押してください。

現管理者アカウント

postmaster

新管理者アカウント

example

確認

■ 設定項目

項目名	内容	
現管理者アカウント	現在設定されている管理者の情報が表示されます。 ※初期値では「postmaster」が設定されています。	
新管理者アカウント	設定する管理者のアカウント（メールアドレスの@より前）を入力します。	
	入力規則	以下の文字が利用可能です。 ・半角英大文字、英小文字 ・数字 0 から 9 まで ・記号の一部：_（アンダーバー） -（ハイフン） .（ドット） ! = ~ ※ 次の文字は、利用できません。 # % ' * + / ? ^ ` { \$ & }



- 4) 登録情報を確認し、問題がなければ[実行]をクリックします。

ウイルスチェック機能: 管理者アカウント管理確認

以下のように管理者変更を実施します。
よろしければ実行ボタンを押してください。

旧管理者アカウント	postmaster
新管理者アカウント	example

キャンセル実行

- 5) 「以下のように管理者変更を実施しました。」と表示されたら完了です。

ウイルスチェック機能: 管理者アカウント管理完了

以下のように管理者変更を実施しました。

旧管理者アカウント	postmaster
新管理者アカウント	example



7.3 警告メールの内容

ウイルスが検出されると、該当メールの受信者/送信者（ウイルスチェック利用者）と管理者に警告メールが送信されます。

警告メール例：管理者宛て

ウイルスチェック利用者が送受信したメールにウイルスが検出された場合、「ウイルス検出状況」と「ウイルス検出メール情報」を記載したメールを管理者に送信します。

- ※ 警告メール送付先の初期値は（postmaster@お客さまドメイン名）です。
送付先を変更する場合は「[7.2 警告メール送付先\(管理者アカウント\) の変更](#)」をご参照ください。
- ※ 警告メールの内容は変更になる場合があります。
- ※ 警告メールの From アドレス（bizmw-support@ml.ntt.com）は送信専用のメールアドレスとなります。返信はしないでください。

■ ウイルス検出状況

※ 以下は記載される内容の一部です。検出時の状況等により記載内容が変わる場合があります。

受信時

- ・ 添付ファイルは削除されました
- ・ メール本文にウイルスが検出されたため、メール本文を削除しています。
- ・ ウイルスを検出、およびウイルスの疑いがあるファイルが添付されているため、メールそのものを削除しています。
- ・ メール全体にウイルスが検出されたため、メールそのものを削除しています。

送信時

- ・ 添付ファイルにウイルスが検出されました。
- ・ メール本文にウイルスが検出されました。
- ・ ウイルスを検出、およびウイルスの疑いがあるファイルが添付されています。
- ・ メール全体にウイルスが検出されました。

■ ウイルス検出メール情報

- ・ ウイルスを検出した日時
- ・ 送信者のメールアドレス
- ・ 受信者のメールアドレス

○ メール受信時（プレミアムの場合）

=====

ウイルス発見通知

=====

管理者メールアドレス 様

日頃よりウイルスチェックサービスをご利用いただきましてありがとうございます。
ウイルスチェックサービスにてウイルスが発見されましたのでご連絡いたします。

[ここにウイルス検出状況が記載されます](#)

■ウイルス検出メール情報

=====

発見日時 : [ウイルスが検出された日付(JST)]
 発信アドレス : [送信者のメールアドレス]
 宛先アドレス : [受信者のメールアドレス]

=====

NTT ドコモビジネス株式会社
 Biz メール&ウェブ プレミアム

○ メール受信時（ビジネスの場合）

=====

ウイルス発見通知

=====

管理者メールアドレス 様

日頃よりメールセキュリティサービスをご利用いただきましてありがとうございます。
ウイルスチェック機能にてウイルスが発見されましたのでご連絡いたします。

[ここにウイルス検出状況が記載されます](#)

■ウイルス検出メール情報

=====

発見日時 : [ウイルスが検出された日付(JST)]
 発信アドレス : [送信者のメールアドレス]
 宛先アドレス : [受信者のメールアドレス]

=====

NTT ドコモビジネス株式会社
 Biz メール&ウェブ ビジネス

○ メール送信時（プレミアムの場合）

=====

ウイルス発見通知

=====

管理者メールアドレス 様

日頃よりウイルスチェックサービスをご利用いただきありがとうございます。
ウイルスチェックサービスにてウイルスが発見されましたのでご連絡いたします。

[ここにウイルス検出状況が記載されます](#)

■ウイルス検出メール情報

=====

発見日時 : [ウイルスを検出した日時(JST)]

発信アドレス : [送信者のメールアドレス]

宛先アドレス : [宛先のメールアドレス]

=====

NTT ドコモビジネス株式会社

Biz メール&ウェブ プレミアム

○ メール送信時（ビジネスの場合）

=====

ウイルス発見通知

=====

管理者メールアドレス 様

日頃よりメールセキュリティサービスをご利用いただきありがとうございます。
ウイルスチェック機能にてウイルスが発見されましたのでご連絡いたします。

[ここにウイルス検出状況が記載されます](#)

■ウイルス検出メール情報

=====

発見日時 : [ウイルスを検出した日時(JST)]

発信アドレス : [送信者のメールアドレス]

宛先アドレス : [宛先のメールアドレス]

=====

NTT ドコモビジネス株式会社

Biz メール&ウェブ ビジネス

警告メール例：受信者宛て

ウイルスチェック利用者がメールを受信する際にウイルスを検出した場合、以下の内容のメールを受信者へ送信します。（警告メールの内容は変更になる場合があります。）

- ※ 警告メールの内容は変更になる場合があります。
- ※ 警告メールのFrom アドレス（bizmw-support@ml.ntt.com）は送信専用のメールアドレスとなります。返信はしないでください。

○ ビジネス・プレミアム 共通

警告!

[ウイルスを検出した日時(JST)] に [送信者のメールアドレス] から [受信者のメールアドレス] 宛に送信されたメールでウイルスを検出しました。

[ここに「ウイルス検出状況」が記載されます](#)

このメールに関する詳細はメール管理者までお問い合わせ下さい。

English Message

WARNING!

The infected email with virus has been found.

[ここに「ウイルス検出状況」が記載されます](#)

[About the infected email]-----

From: [送信者のメールアドレス]

To: [受信者のメールアドレス]

Date: [ウイルスを検出した日時(JST)]

*For more information about this warning email, please contact your postmaster.

■ メール本文に記載される「ウイルス検出状況」の例

※ 以下は記載される内容の一部です。検出時の状況等により記載内容が変わる場合があります。

- ・ 添付ファイルは削除されました
- ・ メール本文にウイルスが検出されたため、メール本文を削除しています。
- ・ ウイルスを検出、およびウイルスの疑いがあるファイルが添付されているため、メールそのものを削除しています。
- ・ メール全体にウイルスが検出されたため、メールそのものを削除しています。
- ・ Virus is detected in the attached file and the file has been deleted.
- ・ The original email body has been deleted because it is infected.
- ・ The original email has been deleted because some of attached files are infected and others are suspicious.
- ・ The original email has been deleted because its body and attached files are infected.

警告メール例：送信者宛て

ウイルスチェック利用者がメールを送信する際にウイルスを検出した場合、以下の内容のメールを送信者へ送信します。（警告メールの内容は変更になる場合があります。）

- ※ 警告メールの内容は変更になる場合があります。
- ※ 警告メールのFrom アドレス（bizmw-support@ml.ntt.com）は送信専用のメールアドレスとなります。返信はしないでください。

○ ビジネス・プレミアム 共通

警告!

[ウイルスを検出した日時(JST)] に [宛先のメールアドレス] 宛てに送信したメールでウイルスを検出しました。

[ここに「ウイルス検出状況」が記載されます](#)

このメールに関する詳細はメール管理者までお問い合わせ下さい。

English Message

WARNING!

The infected email with virus has been found.

[ここに「ウイルス検出状況」が記載されます](#)

[About the infected email]-----

From: [送信者のメールアドレス]

To: [宛先のメールアドレス]

Date: [ウイルスを検出した日時(JST)]

This email is blocked and bounced back to {{.Sender}}.

*For more information about this warning email, please contact your postmaster.

■ メール本文に記載される「ウイルス検出状況」の例

※ 以下は記載される内容の一部です。検出時の状況等により記載内容が変わる場合があります。

- ・ 添付ファイルにウイルスが検出されました。
- ・ メール本文にウイルスが検出されました。
- ・ ウイルスを検出、およびウイルスの疑いがあるファイルが添付されています。
- ・ メール全体にウイルスが検出されました。
- ・ Virus is detected in the attached file(s).
- ・ The original email body has been infected.
- ・ Some of attached files are infected and others are suspicious.
- ・ The original email has been infected.

Biz メール&ウェブ
迷惑メールフィルタリング/ウイルスチェック
管理者マニュアル

発行 NTTドコモビジネス株式会社

© NTTドコモビジネス株式会社
本書の無断複写複製(コピー)・転載を禁じます。